
公益社団法人 日本広告制作協会

2021 年度事業報告

第 34 回定例総会

開催日：2022 年 6 月 3 日（金）16 時～

会 場：ZOOM オンライン（日本広告制作協会 事務局）



新型コロナウイルスの影響も3年目。

働き方、デジタルシフト、ビジネス環境等、様々な変化の時代となり

今後の広告制作の在り方を考える日々が続いています。

この変化に柔軟に対応しつつ皆さまに役立つ様々な情報を

今後も提供してまいります。

OACへの更なるご支援ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

第 34 回定例総会 次第

1. 開会
2. 理事長 挨拶
3. 議長 選任
4. 議事録署名人 選任
5. 審議
 - ◆ 第 1 号議案
 - 2021 年度 事業報告
 - 2021 年度 決算報告及び監査報告 承認の件
6. 報告
 - 2022 年度 事業計画
 - 2022 年度 予算書

2021 年度事業報告

新型コロナウイルスの影響が続いた 2021 年。

21 年度の事業計画でも触れたように、会社経営等も厳しい中、経営に役立つ情報の共有も計画指針の一つでした。会員社の皆さま自身の実際の声を反映させるべく勉強会やセミナーの実施、そして「デザイン経営」・「デザイン思考」が今後の制作会社のヒントになると思い、経営者・クリエイター向けのセミナーを行いました。また学生も同様に新型コロナウイルスの影響にて「気づき」の場などが減る中、その支援にあたってきました。2021 年度は、会員社の皆さま、そして事務局での各セミナー等の企画・構成等、外部依頼もし辛い中、ほぼ当協会内部で各事業に当たった年となりました。またビジネス交流会、賀詞交歓会、総会懇親会など交流に関する事業は出来ず、ほぼ公益事業に邁進した 1 年となりました。

2021 年度事業報告

会員動向

2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日（入退会）

		正会員	賛助会員
入 会	1		(株)ジェイスリー(正会員から移行)
	2		(株)スタジオテック
	3		
	4		
退 会	1	(株)パッションネ	(株)フレンズ
	2	(有)キュームグラフィック	宝印刷(株)
	3	(株)山城デザイン	(有)オフィス アフロディーテ
	4	(株)つくばスタジオ	
	5	(株)創基	
	6		
	7		
	8		
	9		

2022 年 3 月 31 日現在の会員社数

- ◇ 正会員社 68 社（前年同月比 93. 2%：5 社減）
- ◇ 賛助会員社 65 社（前年同月比 98. 5%：1 社減）
- 合計 133 社（前年同月比 95. 7%：6 社減）

正会員社数 68 社 (2022 年 3 月 31 日現在)

(50 音順)

1. (株)アーツ	30. (株)スタジオゲット	59. (株)広瀬企画
2. (株)アイビーネット	31. (株)スタチオ・ユニ	60. フェロールーム(株)
3. (有)アイル企画	32. (株)スナップ	61. (株)プランテーション
4. (株)アクロバット	33. (株)スパイス	62. (有)ブレインカフェ
5. (株)アジア太平洋観光社	34. (株)センシュウ・アド・クリエイターズ	63. (株)プロモーションズライト
6. (株)アズワン	35. (株)創芸社	64. (株)ベルズ
7. アップワード(株)	36. (株)ソリッド・プラス	65. (株)ペンシルロケット
8. (株)アド・プランニング研究所	37. (株)たきコーポレーション	66. (株)ホシ・デザイン
9. (株)アドブレーション	38. (株)ティ・エー・シー企画	67. (株)山田写真製版所
10. (株)一星企画	39. (株)ティ・ケー・オー	68. (株)読広クリエイティブスタジオ
11. (株)インクポイント	40. (株)TCD 東京オフィス	
12. インプレッション(株)	41. (株)ティーディーエス	
13. (株)ウィルコミュニケーションデザイン研究所	42. デザインブル (株)	
14. (株)エージー	43. (株)電通クリエイティブ X	
15. (株)エゾモバイル	44. (株)電通テック	
16. (株)エー・ティ・エー	45. (株)東京アドデザイナーズ	
17. (株)エディターシップ	46. (株)東京グラフィックデザイナーズ	
18. (株)オックス	47. (株)東京ニュース	
19. (株)オフィスバンズ	48. (株)東北新社	
20. (株)オンド	49. NISSHA エフエイト(株)	
21. (株)ガット	50. (株)日本デザインセンター	
22. (株)ガッシュ	51. (株)2055	
23. (株)グラヴ	52. (株)ノエ	
24. コアプランニング(株)	53. (株)ノブレ	
25. (株)サクラアルカス	54. (有)バウ広告事務所	
26. サン・クリエイティブ(株)	55. (株)ハウラー	
27. C. C. (株)レマン	56. (株)博報堂プロダクツ	
28. (株)スキップ	57. (株)ハドル	
29. (株)スクール・コーポレーション	58. (株)樋口事務所	

賛助会員社数 65社 (2022年3月31日現在)

(50音順)

1. アダムシナプス	24. (株)宣伝会議	46. 日本デザイナー学院
2. 集丸(株) (あつまる)	25. (株)セントラルプロフィックス	47. 日本デザイン福祉専門学校
3. (株)アド・テクニカ	26. (株)第一製版	48. 日本電子専門学校
4. (有)イメージ・プラネット	27. (株)竹尾	49. 野口会計法務事務所
5. エイクエント・エルエルシー	28. 田尻広告デザイン	50. (株)博報堂
6. (株)エスケイワード	29. 多摩美術大学	51. (株)バルック
7. (株)エヌシーシーループ	30. タンデムクロス(株)	52. (株)二葉企画
8. (株)ADK クリエイティブ・ワン	31. (株)デザインオフィス・キャン	53. (株)ポーンデジタル
9. 大阪芸術大学	32. (株)電通	54. 町田デザイン&建築専門学校
10. OCA 大阪デザイン&IT 専門学校	33. (株)電通クリエイティブキューブ	55. マルキンアド(株)
11. (株)大塚商会	34. 東京グラフィックコミュニケーションズ 工業組合	56. 武蔵野美術大学
12. (株)オリコム	35. 東京工科大学	57. (株)メディアネットワーク
13. 株式会社マーケティングジャパン(株)	36. 東京コミュニケーションアート専門学校	58. (株)モスデザイン研究所
14. (株)ケイブラン	37. 東京造形大学	59. (株)モリサワ
15. (株)光画	38. 東京デザイン専門学校	60. (株)山崎デザイン事務所
16. (株)ジェイスリー	39. 東京都製本工業組合	61. 山脇美術専門学校
17. ジエイプリント(株)	40. (株)T o o	62. (株)ユウクリ
18. (株)シュガー	41. (株)トラック	63. (株)ライトアップ
19. (株)ショウエイ	42. (株)日広社	64. RX Japan(株)
20. 女子美術大学	43. (株)日庄	65. (株)玲企画
21. (株)スカイアーチネットワークス	44. (株)日東装備	
22. (株)スタジオ・エス	45. 日本工学院八王子専門学校	
23. (株)スタジオテック		

三陸鉄道カレンダー 2022年版 制作

点から線へ。大槌から三陸支援へ。

岩手県大槌町の支援も10年の節目を迎え、支援対象を三陸地域に拡大すべく、三陸鉄道さんとのコラボレーションが実現しました。東日本大震災(2011年)、そして全線開通の約半年後に見舞われた台風19号での甚大な被害(2019年)、さらに2020年からはコロナ禍。幾多の困難から立ち上がる三陸鉄道とその沿線を支援するために、例え今は難しくとも「いつかは三陸に行きたい」と思えるカレンダーを制作することといたしました。

イラスト・絵画を一般公募・ギャラリー列車の運行

鉄道カレンダーでは写真が殆どということもあり、イラストや絵画での募集で他との差別化を図りました。結果60作品が寄せられ、全作品を掲出したギャラリー列車が2021年10月の三陸沿線を運行いたしました。

12 作品を選考し、カレンダーに。

選考は60作品から三陸鉄道さんと当協会にて実施。コロナ禍にてオンラインでの選考となりましたが、12作品を選考しカレンダーに仕上げました。なお、カレンダーには三陸鉄道に勤務される皆さんのおススメ情報として沿線の見所やグルメ情報を記載。巻末にもグルメMAPを掲載し、「いつかは三陸」へのコンセプトに合うようにいたしました。

次年度へのルールも繋がりました

三陸鉄道さんからは、コロナ禍で運賃収入の減少の中、本カレンダーの販売による売上への貢献とともに、この先の観光を見据えた取り組みに評価をいただき、2023年版カレンダーも継続することが決定いたしました。



カレンダーの詳細はHPをご覧ください

<http://www.oac.or.jp/kuribora/santetsu/>

第5回 想いを伝えるカードデザイン大賞

応募期間:2021年8月2日～9月30日

2年目のコロナ禍の中、今回はデータのみで募集を行いました。立体作品が殆どで画像のみでは判断が難しいという反省から実物をお送りいただく方式に戻しました。

応募総数 135点 (前回比: 151.7% 前回数 89点)

高等学校 1校 (3作品) 【前年応募数:1校 1作品】

専門学校 6校 (89作品) 【前年応募数:2校 32作品】

大学 7校 (16作品) 【前年応募数:7校 7作品】

一般 (26作品) 【前年応募数:26作品】

審査状況

一次審査を担当委員会で行い、39作品を選考。

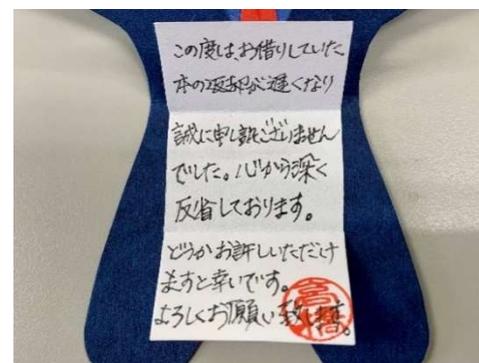
本審査では、(株)NASU 代表取締役の前田 高志氏、(株)ヒダマリ/アートディレクターの関本明子氏、世界ゆるスポーツ協会代表理事の澤田 智洋氏、協賛企業3社、そして当協会専務理事が選考にあたり、各賞を決定しました。

贈賞式

開催日:2021年11月27日(土)

会場:ZOOM オンライン及び You tube Live

昨年同様、新型コロナウイルスの影響で展示会は開催できず、贈賞式はオンラインにて実施いたしました。受賞者の方が審査委員の方から直接選考理由を聞く機会となり、お互いのコミュニケーションも図れたと思います。



受賞作品はHPでご覧ください。

<http://www.oac.or.jp/gcawards2021/prize2021/index.html>

【 学生対象コンテスト 】

第 10 回 学生広告クリエイティブアワード

○ 応募学校数:94 校 (前回は 108%:前回は 87)

- * 高等学校 15 校 (前回参加校数 12 校)
- * 専門学校 29 校 (前回参加校数 33 校)
- * 聴覚特別支援学校 1 校
- * 高等専門学校 1 校
- * 大学 48 校 (前回参加校数 42 校)

○ 応募総数:831 点(前回は 99.8%:前回は 832)

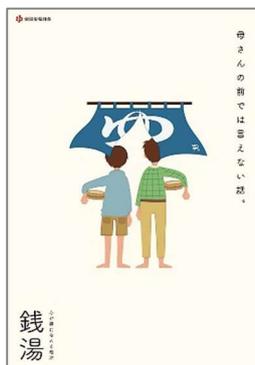
- * グラフィック作品 728 点(前回は 743)
- * 映像作品 103 点(前回は 89)

コロナ禍となつてから2回目の実施となつた今回は、全日本空輸(株)、(株)Too/COPIC、全国浴場組合の3社にご協力いただき開催。昨年同様、データでの募集といたしました。高等学校、大学の応募校数が増えるとともに、映像作品の応募が増えたのが特徴です。

なお、グラフィック作品に関しては見た目やレイアウトを優先しがちな傾向があり、これを観るユーザーの視点や、企業側の課題解決になっているかの視点を更に高めてほしいと思っており、この辺りの考え方をどう広めていくべきか、本コンテストを通じ更に考えてまいります。

さて、授賞式はオンラインで開催。授賞式後は、今回も各企業ごとに分かれて(部屋割りし)受賞した学生さんと企業担当者の方との話し合いの場を設けました。なかなか接点の機会がない企業・学生双方にとって有益な場になったかと思ひます。

ユーザー視点、課題解決のための「考え方」を学生の段階から意識してもらい、常にクリエイティブであり続けてもらうために継続してまいります。



受賞作品は HP でご覧ください。

http://www.oac.or.jp/gakusei_award2021/prize.html

第 10 回アイデアで社会をよりよくするコンテスト

○ 応募学校数:86校(前回比 101%:前回は85)

- * 中学校 4 校 (前回参加校数 1 校)
- * 高等学校 43 校 (前回参加校数 28 校)
- * 専門学校 4 校 (前回参加校数 6 校)
- * 聴覚特別支援学校 1 校
- * 大学 34 校 (前回参加校数 50 校)

○ 応募総数 :750 点(前回比 78%:前回は961)

「自ら課題を見つけ、自ら解決策を考える」をコンセプトに開催している学生向けコンテスト。この取り組みが教育方針とも合致したのか、今回は中学校・高等学校からの応募が増えました。学校としても新型コロナウイルスの影響により、様々な「体験の場」・「気づきの場」が減少する中、本コンテストのコンセプトが通常の授業とは別の観点で評価されたものと思われます。

なお、昨年は「自ら課題を見つけ、自ら解決策を考える」というよりは、アイデアではなく感想に近いものや授業で出た課題だからやった、そんなものが多かったのですが、今回はその辺りを考慮し、募集要項にアイデアの考え方を記載し学校の先生方にも協力をお願いした結果か、昨年よりアイデアの質は高まってきました。

選考に当たっては、各アイデアを読みこなしの上で、候補作品を選出。そこから既に世の中にあるアイデアなのか、オリジナルのものなのかを調べ、最終候補作としました。なお、既存のアイデアでも伝え方がうまいものなどは、準入選の中で「アイデアの伝え方」のヒントとしてもらいたく残しているものもあります。

自ら面白がって考える。そんな若い世代が増えることを祈っています。

おでかけごはん

解決したいこと
 (コロナウイルスの影響で...)
 ✓ 外出の制限をされて、住んでいる地域が知らない
 ✓ 飲食で楽しみが減らない

アイデア
 ✓ 対象者は小学生
 ✓ 月に一度の特別な給食として「おでかけごはん」が出される
 ✓ 5年間で47都道府県すべての設立を計画できる
 ✓ 他の特産物、名産品を使った版図

メリット
 ✓ 他府県への興味や、知識が身につく
 ✓ その土地ならではの調理法を知りながら**食べる**ことができる
 ✓ 給食に苦手意識がある子どもでも、雑談を挟んで学ぶため、普段の給食よりも**記憶に残る**
 ✓ 受けている側は一人で楽しみ、食事後にはお友だちと料理の感想を話したりして**給食時間を楽しく**

アイデアで社会をよくしたい
 コロナウイルスの影響で、飲食店は経営が厳しくなりました。給食で学ぶように企画する新しい給食が、子どもに寄り添った食育の機会を創出できたらいいなと思います。食育を通して、子どもたちが食文化の大切さを学び、食文化の大切さを伝えることができます。食文化の大切さを伝えることで、食文化の大切さを伝えることができます。食文化の大切さを伝えることで、食文化の大切さを伝えることができます。

〈信号無視を無くすアイデア〉

「視線を感じる信号機」

現状:「誰も見てないから」、「自分しかいないから」
 → 信号無視発生!!!

そこで!監視の「目」がある信号機なら視線を感じて無視できなはず!

視覚障がいを持つ女性は16万人を超え、この中でメイクに苦労している人は10万人ほどいる。人は見た目が大事なのでメイクをする。しかし、視覚障がい者の人たちはどうだろうか?視覚障がい者の人たちはメイクをするのは想像する何倍も困難なことだ。目が見えないままメイクをするので難しいところがある。しかし、指輪でも構わない。また、だらしのない人だと思われてしまう。私たちはこんな問題を解決したい。

「EYE Love You」

①レットにスポンジを重ねて色を付ける

これを解決するために開発した商品が「EYE Love You」。グレースケールになっているアイシャドウと、横の別になじみ合うパフがセットになっているアイメイク道具。パフの先端には取っ手がついているため、視覚障害者でも位置をずらさずに綺麗にメイクすることができます。また、メイクにかかる時間も減らすことができます。

②目にスポンジを重ねる
 *スポンジが目から綺麗にメイクできる。

朝忙しく、メイクをする時間がない!
 メイクが上手くできない!

画像認識技術で

ゆずり合いを促進し、安全でやさしい道路に。

車載カメラ → 画像認識技術 → メーターで受け取った感謝を数値化

運転中にうけとった感謝の数をカウントする自動車メーター

このメーターは、画像認識技術を用いてドライバーが運転中に受け取った感謝の瞬間をカウントします。感謝を数値化することで、ドライバーは自分の運転が人々の安心安全につながっているという事実を再認識することができます。これをドライバーの意識やマナー向上につなげ、交通事故の削減や歩行者との安全確保の向上、ロードレージの発生抑制などの社会効果を生み出すことが期待できます。人々のちょっとした感謝の気配が安全でやさしい道路をつくることにつながることを考えています。

ロードレージの発生抑制!
 横断歩道前で一時停止車両

000025Pt

受賞作品は HP でご覧ください。

http://www.oac.or.jp/idea_contest_10th/work.html

新しい働き方・クリエイティブ・人材育成

開催日:2021年4月27日(火) ZOOM オンライン

講師:(株)日本デザインセンター 川俣 忠久氏

(内容)

- 新しい働き方
 - 一番大事なのは社員の健康
- クリエイティブに求められること
 - 本質を見極め、可視化する
 - 提案型へのシフト
 - 時代の模索
- 人材育成
 - 新しい風を入れる
 - 会社姿勢の伝え方を考える
 - 当社に足りないものは、外部と組む
 - 各自の学びを大切に

令和3年春 法改正について

開催日:2021年6月29日(火) ZOOM オンライン

講師: 特定社会保険労務士 廣本 慶一氏

(内容)

- 障がい者雇用率の改定
- 同一労働同一賃金の中小企業への拡大
- 70歳までの就業確保措置(努力義務)
- テレワークガイドラインの改正
 - 人事評価
 - 労働時間管理
 - 自律性を高める
 - メンタルヘルス対策

【OAC 会員社が取り組んでいる新たな営業手法とその実践】第1回:自社発信のメルマガでクライアントを掘り起こせ!

開催日:2021年9月14日(火) ZOOM オンライン

スピーカー

(株)ジェイスリー 足立 功治氏

(株)たきコーポレーション 湯浅 洋平氏・堀部 聡一氏

(株)スタジオ・ユニ 佐藤 昭一氏

(内容)

- 各社とも自社のブランディングを考えている
 - 配信状況
 - 効果・反応
 - 効果的なメール内容の試行錯誤
 - 運用方法
 - 社内の見える化

第2回:そくだ新規事業やろう!

開催日:2021年10月12日(火) ZOOM オンライン

スピーカー

(株)トラック 小泉 邦明氏

(内容)

- PRIMART Design Store(実店舗・EC サイト)
 - 立ち上げの経緯
 - 情報発信と効果
 - 今後の課題

(株)ノエ 野坂 拓郎氏

○ Meets Shop

(内容)

- コロナ禍をどう乗り切るか
- 家にいながらリアル店舗でショッピング
- お店の方にも楽しんでもらいたい!

第3回:強みを活かして!

開催日:2021年11月16日(火) ZOOM オンライン
スピーカー

(株)アズワン 中田 朋樹 氏

(内容)

- 自動組版普及委員会(ACDC)活動について

(株)2055 村田 成仁 氏

- VR Showroom(バーチャルショールーム)
- PANORAMA Showroom(パノラマショールーム)
- VR Object
- PHOTO Object
 - 需要について
 - バーチャルにする目的を確認する

デザイン経営でデザイン会社はどう変わるのか

開催日:2021年12月14日(火) ZOOM ウェビナー
パネリスト

特許庁 デザイン経営プロジェクト・意匠課 審査官
外山 雅暁 氏

(株)たきコーポレーション 湯浅 洋平氏

(内容)

- なぜ今デザインなのか?
- なぜ、デザイナーの能力が必要になるのか?
- 特許庁におけるデザイン経営の取組
 - デザイン経営の役割
 - デザイン経営の定義
 - 「ダブルダイヤモンド・モデル」の実践
- パネルディスカッション

(ZOOM ウェビナーアーカイブはコチラ)

https://www.too.com/fun/webinar/creative-work/2021_too_oac12.html

デザイナー・クリエイターが「デザイン経営」に関わるために

開催日:2022年1月18日(火) ZOOM ウェビナー
パネリスト

特許庁 デザイン経営プロジェクト・意匠課 審査官
外山 雅暁 氏

(株)スタジオ・ユニ 樋口 牧子氏

(内容)

- デザイン思考のプロセスの一例
 - ダブルダイヤモンド・モデル詳細
 - ユーザー視点から課題定義
 - 課題の発見から解決策の発案
 - 着想を広げ検証
 - プロトタイプ作成・ユーザーへ提示・検証
- デザイナーと企業との関わりの事例

(ZOOM ウェビナーアーカイブはコチラ)

<https://www.too.com/fun/webinar/creative-work/2022oac01.html>



若手向けデジタル関連セミナー

公益事業

コロナ禍で世の中はデジタルへシフト。OAC 会員社では既にデジタル分野への取り組みは進んでいますが、日々進化する内容を把握いただくべく、賛助会員の Too さんを講師にセミナーを開催しています。

グラフィックデザイナーのための動画制作 セミナー Part.2

開催日:2021年7月9日(金) ZOOM ウェビナー
https://www.too.com/fun/webinar/adobe/2021_too_oac07.html

Adobe Creative Cloud 2022 どこが変わったのか?

開催日:2021年11月19日(金) ZOOM ウェビナー
<https://www.too.com/fun/webinar/adobe/202111oac.html>

学生支援セミナー

公益事業

クリエイティブ業界を目指す学生さんに向けて、会員社の皆さんと賛助会員のユウクリさんにご協力いただき開催いたしました。

教えて先輩! クリエイティブの仕事って面白いの?

開催日:2021年8月25日(水) ZOOM ウェビナー
登壇者: (株)たきコーポレーション 笹原大氏
(株)電通テック 森岡祐二氏・(株)東京アドデザイナーズ 大橋やや子氏・(株)日本デザインセンター 細見裕太氏
<https://www.youtube.com/watch?v=J96mOde3jbU>



採用担当者はポートフォリオで何を重視している? —ポートフォリオ制作前に考えておくこと—

開催日:2022年2月25日(金) ZOOM ウェビナー
登壇者: (株)アドブレーション 篠原一幸氏
(株)東京アドデザイナーズ 小林史朋氏
<https://www.youtube.com/watch?v=VVf4nX7JwKI>
<https://www.youtube.com/watch?v=Glg5OBzsHT4>

将来の可能性を感じられたら
よくできたポートフォリオ

講師派遣

公益事業

学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会

専門学校より「専修学校の専門課程における職業実践専門課程の認定に関する規程」に基づく依頼にて、下記の派遣を行いました。

◇ 学校関係者評価委員会

- 東京コミュニケーションアート専門学校
2021年7月9日 溝川 誠司 理事
- 東京デザイン専門学校
2021年11月25日 梶原 鉄也 理事

- ・ 日本電子専門学校
2021年11月29日
㈱ジェイスリー 木下 幸弘氏

◇ 教育課程編成委員会

- ・ 仙台デザイン&テクノロジー専門学校
2021年7月9日・2022年2月22日
溝川誠司 理事
- ・ 東京コミュニケーションアート専門学校
2021年9月24日
溝川 誠司 理事
- ・ 東京デザイン専門学校
2021年10月20日・11月12日
宇垣 恵一 専務理事
- ・ 日本電子専門学校
2021年9月9日・2022年2月3日
溝川 誠司 理事
㈱博報堂プロダクツ 西川 肇氏
- ・ 町田・デザイン専門学校
2022年2月2日
㈱オックス 井上 博教氏

ポートフォリオ講習等

- 東京コミュニケーションアート専門学校
2021年8月5日・2022年1月25日
溝川 誠司 理事
2022年1月25日 小山 一博 理事
- 日本デザイナー学院
2021年8月24日 ㈱ジェイスリー 木下 幸弘氏
2022年3月3日
㈱ジェイスリー 木下 幸弘氏
溝川 誠司 理事

クリエイターのワクワクは止まらない 2021 課題を解決するクリエイティブって何だろう?

昨年に引き続き、賛助会員の㈱Tooさんが主催する「design surf seminar」(オンライン開催)より、登壇の依頼がありました。今回は、課題を解決するクリエイティブをテーマに企画。登壇者には㈱スタジオ・ユニの樋口牧子さんをファシリテーターに、㈱アクロバット田中貴弘さん、㈱電通テック小野愛佳さん、㈱博報堂プロダクツ佐藤翔吾さんをお願いいたしました。

課題を解決できるこの仕事は、人を楽しませたり元気にし、人が笑顔になる瞬間に立ち会える。「想像」と「創造」が課題解決の鍵になる等々、このセッション自体もご覧いただいた方々に楽しんでいただけたと思います。



東京学生広告研究団体連盟（東広連）支援

公益事業

表記の学生団体支援として、以下を実施。
2021年会員社の㈱TCDさんに依頼してのWEB領域におけるセミナー審査協力を行いました。

- 開催日:2021年8月8日
㈱TCD 田中 恵子氏 (WEBプロモーションに関するオンラインセミナー)及び OAC 事務局長三上による「デザイン思考」のワークショップ
- 2021年9月～10月24日
第62回学生広告展 一次審査(OAC会員社)・本審査(OAC事務局長)
- 2022年2月13日
学生広告展振り返りとワークショップ(オンライン)

調査・研究

公益事業

◇ 消費税インボイス制度の準備状況アンケート

実施期間 2021 年 8 月 16 日～27 日

対象社:OAC 会員のうち広告制作に携わる
会員社。回答社数:18 社

経済産業省・財務省よりの依頼を受け、また今後の会社経営にも影響がある事項にてアンケートを実施した。

◇ 撮影時のコロナ対策に関するアンケート

実施期間:2021 年 10 月 19 日～10 月 25 日

対象社:OAC 会員のうち広告制作に携わる
会員社。回答社数:24 社

コロナ禍における撮影時の対策方法、また対策に費やす費用負担をどう考えるかなどを共有すべくアンケートを実施した。

◇ セーフティネット 5 号保証調査への協力

コロナ禍で経営状況業況の悪化している業種に対しての貸付を行うセーフティネット 5 号保証。当協会では日本標準産業分類（4151: 広告制作業）において調査を実施。会員社の皆さんに協力を仰ぎ 2019 年～2021 年の過去 3 年間の各期（1～3 月・7～9 月・10～12 月）に対する売上の変化を提出いただき、その数字を基に全国の広告制作会社（約 3 千社とし）、東京と地方との指数を見越したうえで数字を算出。経済産業省・中小企業庁へ提出しています。なお、今期は 2021 年 5 月・10 月・2022 年 2 月と 3 回にわたり実施いたしました。借りずに済むのが一番ではありますが、当協会のみならず全国の広告制作業に関連することゆえ、会員社の皆さんにはお手数ではありますが、コロナが収束する時期まで、ご協力のほどお願いいたします。

情報交流

公益事業

広告関係 23 団体との情報交換に参加。全てオンラインでの開催となりました。こちらもコロナ禍での運営方法や各団体所属企業の動向などが報告されました。

【本年度、計画していたが出来なかった公益事業】

- 東京ハイヤー・タクシー協会とのコラボレーション
 - 大槌学園児童支援
- どちらも新型コロナウイルスの影響にて、実施できませんでした。

出版・広告

収益事業

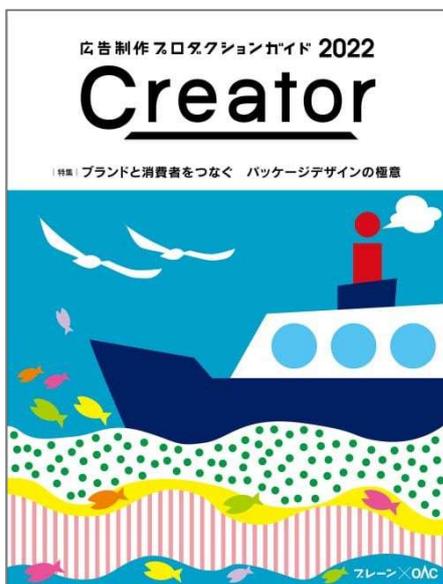
CREATOR2022 誌 発刊

今号の出稿会員社は、

- ◇ 記事体広告(自社紹介頁)27 社
 <前号26 社:1社増>
- ◇ 純広告 8 社
 <前号8 社:増減なし>
- ◇ 個人クリエイター紹介頁 1 社
 <前号 1 社:増減なし>

となりました。

結果的に前号の出稿数とほぼ変化はありませんでした。しかし、コロナの影響にてコロナ前の出稿数には届かないのも事実です。世の中の変化に対応し、様々な分野で取り組んでいる事例を紹介いただき、自社のブランディング向上とその周知に、今後もお役に立ていただければと思います。



会員企業相互の発展に向けて

その他、共益事業

広告制作会社向け E&O 保険

現在 24 社の会員社が加入している E&O 保険 (Errors「過失」、Omissions「怠慢」の略)。本年度の事務手数料は207,925 円となり、共益事業収入に割り振っています。

第 5 回広告デザイン・ブランディング EXPO 後援

開催期間:2021年 4 月 14 日(水)~16 日(金)

開催場所:国際展示場(東京ビッグサイト南棟)

今期、ロータリークラブより急遽相談・依頼のあったパンフレット制作(単発)での売上 123,200 円は共益事業収入に割り振っています。

【本年度、実施出来なかった収益等事業】

- 賃金実態調査
- 総会懇親会
- OAC ビジネス交流会
- 2022 新年賀詞交歓会

2021年度 委員会・理事会 開催状況

	経営委員会	クリエイティブ委員会	未来価値開発委員会	広報委員会	理事会
時間帯	11:00~12:00	17:00~18:00	17:00~18:00	16:00~17:00	17:00~18:00
4月	4月27日(火)	4月8日(木)	4月6日(火)	4月22日(木)	4月22日(木)
5月		5月25日(木)			5月21日(金) 総会終了後
	21日(金) 16時 第33回定例総会(OAC事務局&ZOOM) 懇親会は新型コロナウイルスの影響を鑑み、中止とさせていただきます				
6月	6月29日(火)	/	6月8日(火)	6月24日(木)	6月17日(木)
7月	/	7月1日(木)	7月6日(火)	7月21日(木)	7月15日(木)
8月	委員会・理事会ともお休み。				
9月	9月14日(火)	9月9日(木)	9月7日(火)	9月15日(水)	9月16日(木)
10月	10月12日(火)	10月7日(木)	10月19日(火)	10月28日(木)	10月21日(木)
11月	11月16日(火)	11月11日(木)	11月10日(水)	11月25日(木)	11月18日(木)
12月	12月14日(火)	12月9日(木)	12月7日(火)	12月1日(木)	12月16日(木)
2022年1月	1月18日(火)	1月13日(木)	1月12日(水)	1月27日(木)	1月20日(木)
2月	/	2月10日(木)	2月8日(火)	2月17日(木)	/
3月	/	3月10日(木)	3月8日(火)	3月24日(木)	3月17日(木)

新型コロナウイルスの影響にて、各委員会とも ZOOM でのオンライン開催となりました。

2021 年度決算報告及び監査報告 承認の件

貸借対照表	20
財産目録	21
正味財産増減計算書	22・23
正味財産増減計算書 内訳表	24・25
財務諸表に対する注記	26
附属明細書	27
事業報告附属明細書	28
監査報告	29

貸借対照表

2022年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	20,084,613	20,371,199	△ 286,586
未収会費	60,000	240,000	△ 180,000
未収入金	500	0	500
前払費用	353,048	353,048	0
流動資産合計	20,498,161	20,964,247	△ 466,086
2. 固定資産			
1) 特定資産			
預り保証金特定預金	2,100,000	2,100,000	0
退職給付特定預金	850,000	425,000	425,000
50周年事業特定預金	2,000,000	0	2,000,000
2) その他固定資産			
敷金・保証金	2,000,000	2,000,000	0
固定資産合計	6,950,000	4,525,000	2,425,000
資産合計	27,448,161	25,489,247	1,958,914
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	14,543	6,648	7,895
未払費用	28,358	24,816	3,542
預り金	221,034	229,663	△ 8,629
賞与引当金	0	0	0
流動負債合計	263,935	261,127	2,808
2. 固定負債			
退職給付引当金 (役員用積立額)	850,000	425,000	425,000
預り保証金	2,100,000	2,100,000	0
長期未払金	0	0	0
固定負債合計	2,950,000	2,525,000	425,000
負債合計	3,213,935	2,786,127	427,808
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	24,234,226	22,703,120	1,531,106
負債・正味財産合計	27,448,161	25,489,247	1,958,914

財産目録

2022年3月31日現在

(単位:円)

科 目	場所・物量・内容等	使用目的等	金 額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			(20,084,613)
	現金手許有高	運転資金として	162,480
	普通預金 みずほ銀行 赤坂支店	運転資金として	4,934,398
	普通預金 みずほ銀行 銀座中央支店	税金取扱い口座として	108,645
	普通預金 三井住友銀行 赤坂支店	会費自動振替分として	13,879,090
	定期預金 みずほ銀行 銀座中央支店	運転資金として	1,000,000
未収会費			(60,000)
	2021年度会費 (賛助会員1社)	会費	60,000
未収入金			(500)
	amazon会費返金分		500
前払費用			(353,048)
	銀座吉澤ビル賃料 (2022年4月分) 家賃		353,048
流動資産合計			20,498,161
2. 固定資産			
1) 特定資産			
預り保証金特定預金	定期預金 みずほ銀行 銀座中央支店	退会時返却用の預り金 (21社分)	(2,100,000)
退職給付特定預金	普通預金 みずほ銀行 銀座中央支店	退職給付引当金口座として	(850,000)
特定費用準備資金	普通預金 みずほ銀行 銀座中央支店	50周年記念事業として	(2,000,000)
2) その他固定資産			
敷金・保証金	銀座吉澤ビル敷金・保証金	共用財産であり、公益事業に80%、 収益事業に10%、その他事業に3%、 法人管理運営費に7%を充てている	(2,000,000)
固定資産合計			6,950,000
資産合計			27,448,161
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			(14,543)
	ZOOMウエビナー契約料 (3月23日~5月13日分)		14,543
未払費用			(28,358)
	(株)大塚商会 3月分		21,450
	ヤマト運輸発送代 (3月分)		6,908
預り金			(221,034)
	社会保険料 (3月分)		65,450
	所得税 (3月分)		117,540
	市区民税 (3月分)		24,400
	源泉所得税204条 (3月分)		13,644
流動負債合計			263,935
2. 固定負債			
退職給付引当金			(850,000)
			850,000
預り保証金			(2,100,000)
	正会員 (21社分)		2,100,000
固定負債合計			2,950,000
負債合計			3,213,935
正味財産合計			24,234,226

正味財産増減計算書

2021年4月1日～2022年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	55	121	△ 66
特定資産運用益計	55	121	△ 66
受取会費等			
正会員受取会費	16,740,000	17,670,000	△ 930,000
賛助会員受取会費	7,590,000	7,850,000	△ 260,000
新正会員受取会費	0	240,000	△ 240,000
新正会員受取入会金	0	100,000	△ 100,000
新賛助会員受取会費	30,000	40,000	△ 10,000
受取会費等計	24,360,000	25,900,000	△ 1,540,000
事業収益			
広告料収益	3,685,000	3,597,000	88,000
販売収益	34,500	111,000	△ 76,500
事業収益計	3,719,500	3,708,000	11,500
受取寄付金			
受取寄付金振替額	0	65,000	△ 65,000
受取寄付金計	0	65,000	△ 65,000
雑収益			
受取利息	238	311	△ 73
雑収益	331,125	456,657	△ 125,532
雑収益計	331,363	456,968	△ 125,605
経常収益計	28,410,918	30,130,089	△ 1,719,171
(2) 経常費用			
事業費			
1. 人件費			
役員報酬	4,845,000	4,845,000	0
給与手当	4,703,760	4,996,050	△ 292,290
賞与	0	124,450	△ 124,450
法定福利費	803,730	915,357	△ 111,627
人材派遣費(事務局1名)	2,478,018	2,528,135	△ 50,117
役員退職金積立	403,750	403,750	0
人件費計	13,234,258	13,812,742	△ 578,484
2. 事務所関係費			
家賃	3,770,553	4,024,747	△ 254,194
水道光熱費	191,951	181,984	9,967
事務所関係費計	3,962,503	4,206,731	△ 244,228
3. 諸費			
通勤交通費	366,985	397,566	△ 30,581
会議費	36,620	38,572	△ 1,952
旅費交通費	203,548	121,673	81,875
通信運搬費	171,804	84,210	87,594
事務消耗品費	451,837	23,198	428,639
広告宣伝費	93,500	55,000	38,500
制作費	110,000		
印刷費	296,631	527,183	△ 230,552
支払い手数料(ZOOM)	36,653		
リース料	230,148	863,028	△ 632,880
諸謝金	276,233	181,411	94,822
諸会費(支払負担金)	60,000	60,000	0
委託費	2,533,300	2,471,700	61,600
サイト運営費	1,511,349	1,511,349	0
修繕費	154,660	250,800	△ 96,140
雑費	50,000	50,000	0
諸費計	6,583,268	6,635,690	△ 52,422
事業費計	23,780,030	24,655,163	△ 875,134

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
管理費			
1. 人件費			
役員報酬	255,000	255,000	0
給与手当	300,240	262,950	37,290
賞与	0	6,550	△ 6,550
法定福利費	51,303	48,177	3,126
人材派遣費	306,272	280,904	25,368
役員退職金積立	21,250	21,250	0
人件費計	934,065	874,831	59,234
2. 事務所関係費			
家賃	466,023	211,829	254,194
水道光熱費	23,724	9,578	14,146
事務所関係費計	489,748	221,407	268,341
3. 諸費			
通勤交通費	23,425	20,924	2,501
図書費	69,880	45,400	24,480
旅費交通費	0	3,500	△ 3,500
通信運搬費	120,455	164,266	△ 43,811
事務消耗品費	102,065	459,956	△ 357,891
渉外費	96,800	0	96,800
印刷費	8,390	0	8,390
支払手数料	212,265	244,404	△ 32,139
支払報酬	873,864	873,864	0
支払保険料	0	16,000	△ 16,000
リース料	13,596	13,596	0
公租公課	71,850	70,800	1,050
修繕費	66,000	157,520	△ 91,520
雑費	17,380	220,220	△ 202,840
諸費計	1,675,970	2,290,450	△ 614,480
管理費計	3,099,782	3,386,688	△ 286,906
経常費用計	26,879,812	28,041,851	△ 1,162,039
評価損益等調整前当期経常増減額	1,531,106	2,088,238	△ 557,132
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,531,106	2,088,238	△ 557,132
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
役員退職慰労金	0	0	0
従業員退職金	0	1,067,552	△ 1,067,552
経常外費用計	0	1,067,552	△ 1,067,552
当期経常外増減額	0	△ 1,067,552	1,067,552
税引前当期一般正味財産増減額	1,531,106	1,020,686	510,420
当期一般正味財産増減額	1,531,106	1,020,686	510,420
一般正味財産期首残高	22,703,120	21,682,434	1,020,686
一般正味財産期末残高	24,234,226	22,703,120	1,531,106
II 指定正味財産増減の部			
販売収益（三陸鉄道カレンダー）	34,500	111,000	△ 76,500
寄付金	0	65,000	△ 65,000
受取寄付金計	34,500	176,000	△ 141,500
特定資産受取利息	55	121	△ 66
特定資産運用益計	55	121	△ 66
一般正味財産への振替額	34,555	176,121	△ 141,566
一般正味財産への振替額計	△ 34,555	△ 176,121	141,566
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	24,234,226	22,703,120	1,531,106

正味財産増減計算書 内訳表

2021年4月1日～2022年3月31日まで

(単位:円)

科目	2021年度 実績	2021年度 予算	増減	2021年度公益目的事業		2021年度収益等事業			法人会計
				公1	(合計)	収1	共益	(合計)	
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
特定資産運用益	55	0	55		0			0	55
特定資産受取利息	55	0	55		0			0	55
受取会費等 (※1)	24,360,000	23,700,000	660,000	17,052,000	17,052,000	0	1,218,000	1,218,000	6,090,000
正会員受取会費	16,740,000	15,840,000	900,000	11,718,000	11,718,000		837,000	837,000	4,185,000
賛助会員受取会費	7,590,000	7,860,000	△ 270,000	5,313,000	5,313,000		379,500	379,500	1,897,500
新正会員受取会費		0	0	0	0		0	0	0
新正会員受取入会金		0	0	0	0		0	0	0
新賛助会員受取会費	30,000	0	30,000	21,000	21,000		1,500	1,500	7,500
事業収益合計	4,050,863	3,300,000	750,863	34,500	34,500	3,685,000	331,125	4,016,125	238
広告料収益合計	3,685,000	3,060,000	625,000	0	0	3,685,000	0	3,685,000	0
クリエイター2022 会員社員掲載料	2,420,000	2,200,000	220,000			2,420,000		2,420,000	
クリエイター2022 広告掲載料	1,199,000	800,000	399,000			1,199,000		1,199,000	
OACサイトバナー広告	66,000	60,000	6,000			66,000		66,000	
販売収益	34,500	0	34,500	34,500	34,500	0	0	0	0
三陸鉄道カレンダー販売収益	34,500	0	34,500	34,500	34,500				
受取寄付金	0	40,000	△ 40,000	0	0			0	0
受取寄付金振替額	0	40,000	△ 40,000					0	
雑収入	331,363	200,000	131,363	0	0	0	331,125	331,125	238
受取利息	238	0	238					0	238
OAC総合賠償責任保険事務手数料	207,925	200,000	7,925				207,925	207,925	
ロータリークラブパンフレット制作	123,200	0	123,200				123,200	123,200	
【経常収益計】	28,410,918	27,000,000	1,410,918	17,086,500	17,086,500	3,685,000	1,549,125	5,234,125	6,090,293
(2) 経常費用									
<事業費>									
人件費	13,234,258	13,238,500	△ 4,242	12,888,527	12,888,527	172,866	172,865	345,731	0
役員報酬	4,845,000	4,845,000	0	4,845,000	4,845,000	0	0	0	
給料手当	4,703,760	4,753,800	△ 50,040	4,503,600	4,503,600	100,080	100,080	200,160	
法定福利費	803,730	855,950	△ 52,220	769,530	769,530	17,100	17,100	34,200	
人材派遣費	2,478,018	2,380,000	98,018	2,366,647	2,366,647	55,686	55,685	111,371	
役員退職金積立	403,750	403,750	0	403,750	403,750	0	0	0	
事務所関係費	3,962,504	4,218,000	△ 255,496	3,784,414	3,784,414	89,045	89,045	178,090	0
家賃	3,770,553	4,028,000	△ 257,447	3,601,090	3,601,090	84,731	84,732	169,463	
水道光熱費	191,951	190,000	1,951	183,324	183,324	4,314	4,313	8,627	
諸費	6,583,268	6,520,600	62,668	3,988,316	3,988,316	2,566,789	28,163	2,594,952	0
通勤交通費	366,985	620,350	△ 253,365	351,369	351,369	7,808	7,808	15,616	
会議費	36,620	70,000	△ 33,380	36,620	36,620				
会場費	0	100,000	△ 100,000						
図書費	0	90,250	△ 90,250						
旅費交通費	203,548	320,000	△ 116,452	203,548	203,548				
通信運搬費	171,804	108,000	63,804	168,024	168,024	3,780		3,780	
事務消耗品費	451,837	37,000	414,837	451,837	451,837				
広告宣伝費	93,500	231,000	△ 137,500	93,500	93,500				
制作費	110,000	0	110,000	110,000	110,000				
渉外費	0	30,000	△ 30,000						
印刷費	296,631	380,000	△ 83,369	296,631	296,631				
支払手数料 (ZOOM)	36,653	0	36,653	36,653	36,653				
リース料	230,148	234,000	△ 3,852	195,625	195,625	17,261	17,262	34,523	
諸謝金	276,233	290,000	△ 13,767	276,233	276,233				
諸会費	60,000	60,000	0	60,000	60,000				
委託費	2,533,300	2,100,000	433,300			2,533,300		2,533,300	
サイト運営費	1,511,349	1,550,000	△ 38,651	1,511,349	1,511,349				
修繕費	154,660	130,000	24,660	146,927	146,927	4,640	3,093	7,733	
雑費	50,000	170,000	△ 120,000	50,000	50,000				
事業費計	23,780,030	23,977,100	△ 197,070	20,661,257	20,661,257	2,828,700	290,073	3,118,773	0

【会費収入の割り振りについて】(※1)

* 今回会費収入は、下記のように割り振りました。

2021年度	
公益事業	70% 17,052,000
収益事業	0% 0
共益事業	5% 1,218,000
法人会計	25% 6,090,000
	¥24,360,000

(単位:円)

科目	2021年度 実績	2021年度 予算	増減	2021年度公益目的事業		2021年度収益等事業			法人会計
				公1	(合計)	収1	共益	(合計)	
管理費									
人件費	934,065	991,500	△ 57,435	0	0	0	0	0	934,065
役員報酬	255,000	255,000	0		0			0	255,000
給与手当	300,240	250,200	50,040		0			0	300,240
法定福利費	51,303	45,050	6,253		0			0	51,303
人材派遣費	306,272	420,000	△ 113,728		0			0	306,272
役員退職金積立	21,250	21,250	0		0			0	21,250
事務所関係費	489,747	222,000	267,747	0	0	0	0	0	489,747
家賃	466,023	212,000	254,023		0			0	466,023
水道光熱費	23,724	10,000	13,724		0			0	23,724
諸費	1,675,970	1,809,400	△ 133,430	0	0	0	0	0	1,675,970
福利厚生費	0	30,000	△ 30,000		0			0	
通勤交通費	23,425	32,650	△ 9,225		0			0	23,425
会議費	0	0	0		0			0	0
図書費	69,880	4,750	65,130		0			0	69,880
旅費交通費	0	36,000	△ 36,000		0			0	0
通信運搬費	120,455	185,000	△ 64,545		0			0	120,455
事務消耗品費	102,065	200,000	△ 97,935		0			0	102,065
渉外費	96,800	24,000	72,800		0			0	96,800
印刷費	8,390	10,000	△ 1,610		0			0	8,390
支払手数料	212,265	252,000	△ 39,735		0			0	212,265
支払報酬	873,864	874,000	△ 136		0			0	873,864
支払保険料	0	0	0		0			0	0
リース料	13,596	22,000	△ 8,404		0			0	13,596
公租公課	71,850	73,000	△ 1,150		0			0	71,850
修繕費	66,000	66,000	0		0			0	66,000
雑費	17,380	0	17,380		0			0	17,380
管理費計	3,099,782	3,022,900	76,882	0	0	0	0	0	3,099,782
【経常費用計】	26,879,812	27,000,000	△ 120,188	20,661,257	20,661,257	2,828,700	290,073	3,118,773	3,099,782
*事業比率	100%			76.9%	76.9%	10.5%	1.1%	11.6%	11.5%
【評価損益等調整前当期経常増減額】	1,531,106	0	1,531,106	△ 3,574,757	△ 3,574,757	856,300	1,259,052	2,115,352	2,990,511
【評価損益等計】									
【当期経常増減額】	1,531,106	0	1,531,106	△ 3,574,757	△ 3,574,757	856,300	1,259,052	2,115,352	2,990,511
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
【経常外収益計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
【経常外費用計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【当期経常外増減額】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【他会計振替額計】 (※2)	0			1,057,676	1,057,676	△ 428,150	△ 629,526	△ 1,057,676	0
【当期一般正味財産増減額】	1,531,106		1,531,106	△ 2,517,081	△ 2,517,081	428,150	629,526	1,057,676	2,990,511
【一般正味財産期首残高】	22,703,120	22,703,120	0	△ 22,937,475	△ 22,937,475	△ 2,488,536	5,526,525	3,037,989	42,602,606
【一般正味財産期末残高】	24,234,226	22,703,120	1,531,106	△ 25,454,556	△ 25,454,556	△ 2,060,386	6,156,051	4,095,665	45,593,117
II 指定正味財産増減の部									
受取寄付金計	34,500			34,500	34,500				
販売収益 (三陸鉄道カレンダー)	34,500			34,500	34,500				
寄附金	0			0	0				
特定資産運用益計	55								55
特定資産受取利息	55								55
一般正味財産への振替額計	△ 34,555			△ 34,500	△ 34,500				△ 55
販売収益 (三陸鉄道カレンダー)	△ 34,500			△ 34,500	△ 34,500				
寄附金 振替額	0			0	0				
特定資産受取利息 振替額	△ 55								△ 55
【当期指定正味財産増減額】	0	0	0	0	0				
【指定正味財産期首残高】	0	0	0	0	0				
【指定正味財産期末残高】	0	0	0	0	0				
III 正味財産期末残高	24,234,226	22,703,120	1,531,106	△ 25,454,556	△ 25,454,556	△ 2,060,386	6,156,051	4,095,665	45,593,117

【他会計振替額について】(※2)

他会計振替額は、収益・共益事業の当期経常増減額
(収益事業856,300円・共益事業1,259,052円：合計2,115,352円)の
各々50% (合計1,057,676円) を公益事業に振替えています。

事業比率について

公益目的事業76.9%・収益等事業11.6%・法人会計11.5%となりました。

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

法人税法に基づく旧定率法及び定率法を採用しております。

(2) 引当金の計上基準

賞与引当金 …………… 職員の賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち
当期負担分を計上しております。

退職給付引当金 ……… 職員の退職に備えるため、期末要支給額の全額を計上して
おります。

(3) 消費税等の会計処理税込方式によっております。

2. 指定正味財産から一般正味財産への振替額について

三陸鉄道カレンダーの販売収入 34,500 円を一般正味財産へ振替えました。

また、退職給付金口座・預り保証金口座の利息額 55 円を振替えています。

3. 特定資産の増減額及びその残高

次頁の附属明細書のとおりであります。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

	資産の種類	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価格
特定資産	役員退職給付積立資産	425,000	425,000	0	850,000
	クロボラ事業引当資産	0	34,500	34,500	0
	預り保証金積立資産	2,100,000	0	0	2,100,000
	特定費用準備資金	0	2,000,000	0	2,000,000
特定資産合計		2,525,000	2,459,500	34,500	4,950,000

※ クロボラ事業引当資産:「三陸鉄道カレンダー支援事業」のカレンダー販売収益 34,500 円。

※ 預り保証金積立資産:2003 年 3 月以前に入会された正会員は入会に関する保証金として 10 万円を預かり退会時返金することとなっている。本年度は該当会社はありませんでした。

※ 特定費用準備資金は、50 周年事業を対象に準備しています。

2. 特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に対する額
役員退職給付積立資産	850,000	0	850,000	850,000
預り保証金積立資産	2,100,000	0	2,100,000	2,100,000
特定費用準備資金	2,000,000		2,000,000	2,000,000
特定資産合計	4,950,000	0	4,950,000	4,950,000

事業報告附属明細書

➤ 正味財産増減計算書（内訳表）会費の振り分けに関して

本年度も昨年度に引続きコロナ禍での運営となりました。

大部分を公益目的事業に充てることとなった本年ですが、公益目的事業での実質費用は従来に比べ減少していること、また収益等事業のうち共益事業がほぼ行えなかったこともあり、会費の振り分けは以下の通りとした。

公益目的事業 70%（前年度:75%）

共益目的事業 5%（前年度:10%）

法人会計 25%（前年度:15%）

➤ 正味財産増減計算書（内訳表）費用配布割合に関して

事業報告に記載した通り、2021 年度はほぼ公益事業に費やした年となりました。公益法人では費用項目を公益目的事業・収益等事業・法人会計に按分して記載（人件費等はその事業への従事した割合・家賃やPC等はその事業に使用している割合・そしてある事業に直接関連するものは直接費用）しています。

本年度は、コロナ禍の影響にて会場費や講師への謝礼など実際に外部へ支払う金額が減少しました。しかし逆に協会内（会員社の皆さんの協力や事務局）の業務量は増加しました。ZOOMを主体とするセミナー準備（シナリオ作成・集客告知作成）や各種情報の収集・発信、学生向けコンテスト等でのデータ整理等、外部に依頼することなく実施していたのが実際です。

本年度はこの実態に合わせ、配布割合は以下のように按分いたしました。

		公益目的事業	収益等事業	共益事業	法人会計	
人件費	専務理事	95% (85%)	0% (5%)	0% (5%)	5% (5%)	従事割合
	事務局長	90% (85%)	2% (5%)	2% (5%)	6% (5%)	従事割合
	派遣: 経理・総務	85% (85%)	2% (5%)	2% (5%)	11% (5%)	従事割合
家賃	家賃・光熱費	85% (85%)	2% (5%)	2% (5%)	11% (5%)	使用割合
	通勤交通費	90% (85%)	2% (5%)	2% (5%)	6% (5%)	従事割合

()内は従来の比率

※リース料は従来を踏襲し、その他の費用は、ある事業に関連した直接対応費用となっています。

➤ 事業費における事務消耗品に関して

予算 37,000 円に対し、451,837 円となりましたが、その内訳はデータの扱いが増え、現在の PC では容量が足りず新規で PC の購入、また 20 年度に購入した Mac ソフトの更新料にて411,950 円。残りの 39,887 円が事業に費やしたものとなります。なお、PC 関連費用は学生向けコンテストのデータ整理など、公益事業に費やす目的にてその全額を公益事業に配賦しています。

監査報告

公益社団法人 日本広告制作協会
理事長 佐藤 文則 殿

2022 年 4 月 20 日

公益社団法人 日本広告制作協会
監事 田村 壽孝



監事 村上 健



私たちは、2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までの 2021 年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告します。

1 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討しました。
- (2) 業務監査について、理事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討しました。

2 監査意見

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none">(1) 貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく示していると認めます。(2) 事業報告の内容は正しく記載されていると認めます。 | <ol style="list-style-type: none">(3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は、法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。 |
|--|--|

以上

2022 年度 事業計画

公益社団法人日本広告制作協会

運営方針

人と社会のつながりを担い、理解と共感を育む

コロナ禍となって3年目となります。人と人とのリアルな触れ合いを奪う新型コロナウイルス。この間、全ての活動がオンラインによるものと変化しました。オンラインには慣れても来ましたが、働き方も変化しています。家族との接点が増えるなど、良い側面を見出すキッカケにはなりましたが、閉じた世界に入ったような印象もあります。コロナの感染が広まり、「離れていてもつながろう」の言葉を打ち立て、経営支援の情報提供や各種セミナーなどを開催してきました。物理的な距離感はオンラインでも解消出来ましたが、ここに来て心理的側面における「つながり」が求められている気がします。この部分を掘り下げて、本年度は「理解と共感を育む」ことをテーマといたします。

個々の事業においても同様に、セミナーを聴いた方が共感できるのか、三陸鉄道のカレンダーを購入された方が近い未来に実際に三陸を訪れようと思うものになっているか、街で一行タクシーを見かけた方が「よし、今日も頑張るか！」と思ってもらえるのか。常に本テーマに沿ったものになっているか、確認しつつ進行してまいります。

お互いが理解し合え、共感できる世界の再構築のために、邁進してまいります。

※ なお本年度も新型コロナウイルスの影響にて実施困難なケースが出てくる可能性もあります。ご了承ください。



クリエイティブを活かし、育む (クリエイティブ・ボランティア事業)	公益	収益	共益
三陸沿岸支援カレンダー制作	○		
「ココロをつなぐー行タクシー 人と街にエール」 (東京ハイヤー・タクシー協会とのコラボレーション)	○		
想いを伝えるカードデザイン大賞 2022	○		
学生広告クリエイティブアワード 2022	○		
学生アイデアで社会をよりよくなるコンテスト 2022	○		
デザイン思考の啓蒙	○		
若手クリエイターと共に社会的課題解決を行うために！ その仕組みづくりと実践	○		

経営と人材の育成のために

ヨコの繋がりを再構築し、経営課題解決のための仕組みづくりと その実践	○		
若手クリエイターを中心としたデジタル系セミナーの開催	○		
学生支援セミナーの開催	○		
講師派遣・学生広告団体（東広連）支援	○		
経営状況等各種アンケートの実施とその共有	○		
広告関係団体との情報交換	○		
各委員会・理事会の開催ならびに OAC50 周年に向けて	○		

会員企業相互の発展のために

CREATOR 誌の監修		○	
E&O 保険			○
会員間のコミュニケーションのために（ビジネス交流会の計画）			○

その他、内閣府・経済産業省等からの情報提供や意見交換などを通して得た内容も
会員社の皆さまに提供してまいります。

クリエイティブを活かし、育む

1. 三陸鉄道ならびに沿岸市町村支援カレンダー制作

昨年は東日本大震災で被災した岩手県大槌町への10年に亘る支援から三陸沿岸の市町村を対象にした支援とすべく、三陸鉄道とコラボレーションし会員社ならびに広く一般から三陸鉄道と沿線風景を描いたイラスト・絵画を募り、カレンダーに仕上げました。沿線支援と同時にコロナ禍での観光客数の減少を受けた三陸鉄道さん自体の支援にも繋がりました。本年も三陸鉄道沿線の10市町村の風景を題材に、沿線市町村ならびに三陸鉄道の支援を継続いたします。コロナ禍ではありますが、「いつかは三陸！」そのように思っていただけのように今後の観光促進を図り、地域活性化を目指してまいります。

2. 「ココロをつなぐ一行タクシー 人と街にエール」(東京ハイヤー・タクシー協会とのコラボレーション)

2019年「ココロを運ぶ一行タクシー 東京物語」と銘打ってタクシーにまつわるコピーを1行(17文字以内)で表現するコンテストを実施。車体ボディへ1行コピーをラッピングし東京を50台のタクシーが走行しました。しかし2020年、2021年とコロナ禍で実施することが出来ませんでした。

そして2022年、タクシー業界もまだまだ大変な状況ではありますが、この2年間にわたり疲弊した全ての方々に『エール』を送りたい。タクシーに書かれた1行コピーを見て、街行く人が少しでも元気になれるよう応援したい。そんな思いが、東京ハイヤー・タクシー協会様より寄せられました。

東京ハイヤー・タクシー協会様と打ち合わせを重ね8月の「タクシーの日」に向けて進行します。

『クリエイティブのチカラで社会を元気に』すべく、多くの方がこの取り組みに参加していただけることを願っています。

3. 想いを伝えるカードデザイン大賞 2022

「想いを伝えるカードデザイン大賞」は手作りのカード実物で審査するコンテスト。このカードデザイン大賞は、全国の学生の方、一般の方の応募が多いのも特徴です。コロナ禍も3年目に入りオンラインの生活にも慣れてはきましたが、鬱々とした感情になっている方も増えている気がします。そんな今だからこそ、多くの方の様々な想いを、真に心に伝わるコミュニケーションの在り方を問う機会になるよう推進してまいります。

4. 学生広告クリエイティブアワード 2022

実際の商品を題材にして課題解決の能力を若い時代から体験してもらおうと、課題企業の協力の下に開催しています。届ける相手のこと、課題の本質を理解する段階を踏み、その上で表現に入ることの重要性を理解して取り組んで欲しいと願っています。よりコミュニケーション力を身に付けていくキッカケづくりの場として定着させ、本アワードの更なる充実を図ってまいります。

5. 学生アイデアで社会をよりよくするコンテスト 2022

自ら社会問題に関する課題を設定し、その課題の解決のためのアイデアを導く。そんなクリエイティブな行為を若いうちから実践してもらう機会とすることにより、今後の人生に役立ててほしい。昨年は応募時にデザイン思考の「考え方」を提示したせいも、一昨年とは異なり、考えた作品が多く寄せられた印象です。なお、今後は良いアイデア作品を現実のモノとして世の中に出せないかを課題に、「デザイン経営」セミナーでお世話になった特許庁等専門家の意見も取り入れつつ、更に充実した内容にしてまいりたいと思います。

6. デザイン思考の啓蒙

先に掲げた学生広告クリエイティブアワード、アイデアで社会をより良くするコンテストでは、応募される作品の7、8割近くは一次選考で除外されます。届ける相手のことを理解していない、課題に沿っていない（企業の抱える悩みの本質を深堀していない）ことが原因です。この考え方を今後の若い世代に伝えていくことは、「社会のつながりを担い、理解と共感を育む」機会になると思います。OACでは今までも小学校を中心とし、その活動を行ってまいりました。このコロナ禍で実際に足を運べない現状ではありますが、引続きその想いを抱き実行に移していきたいと思っています。

7. 若手クリエイターと共に社会的課題解決を行うために！その仕組みづくりと実践

上記項目以外にも、SDGsに関すること、子どもの貧困問題、ヤングケアラーなど取り組むべき課題は多数存在しています。当協会で行っているクリエイティブ・ボランティア活動はそれに向けて柔軟に対応していく所存です。また、特に若手クリエイターへの参加を促し、彼らにクリエイティブでの課題解決の重要性を認識してもらい、その実践に向かいたいと思います。

経営と人材の育成のために

1. ヨコの繋がりを再構築し、経営課題解決のための仕組みづくりとその実践

昨年度の経営委員会ではオンラインでの意見交換などを活発化し、コロナ禍での営業手法、新規事業の取り組み、自社の取り組みを紹介するメルマガのあり方（自社ブランディングのあり方）、そして「デザイン経営」など会員社のみならず広く一般の方とも様々な課題について話し合ってきました。しかし一方では、オンラインならではの課題にも直面し、会って雑談の中から生まれる要素をどうすべきか悩んだ年ともなりました。本年度は、従来経営委員会で培われていた「つながり」を再構築するべく模索し、更に個々の課題を解決すべく取り組める仕組みをつくり上げていきたいと思えます。

2. 若手クリエイターを中心としたデジタル系セミナーの開催

昨年度は、動画編集と Adobe Creative Cloud の最新事情について学ぶ機会を設けました。本年度に関しても、アンケートを実施したところ Illustrator・Photoshop の最新情報・作業効率アップ、動画編集、WEB デザインのトレンド、AR/VR の実例と今後等、関心の高い分野が寄せられました。仕事の作業効率とデジタル分野のニーズの高まりが伺えます。このようなセミナーを基軸に、更には経営委員会でも持ち上がっているように、若手同士の「つながり」の部分はどう構築していくかも模索していきたいと思えます。

3. 学生支援セミナーの開催

昨年度はクリエイティブの仕事に関することと、就活（ポートフォリオ）に関してのオンラインセミナーを開催いたしました。先に掲げた「デザイン思考」の考え方をベースにしつつ、より多くの学生が課題解決に向かう意識を醸成しつつ、よりクリエイティブなチカラを発揮できるよう、本年もオンラインが主体となると思えますが、尽力してまいります。

4. 講師派遣・学生広告団体（東広連）支援

専門学校の学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会への参加。ならびに講師派遣依頼への対応を行います。また、東京学生広告研究団体連盟（東広連）活動の支援（ワークショップやセミナーの開催）ならびに同団体の学生広告展の審査協力を行ってまいります。

5. 経営状況等各種アンケートの実施とその共有

昨年度は撮影時のコロナ対策、インボイス制度の取り組み状況、価格転嫁状況、セーフティネット5号に関する売上状況等のアンケートを実施してまいりました。本年度もその必要性に応じ、各種アンケートを実施することで課題に対する意識を醸成しつつ、その結果を共有していきたいと思えます。

6. 広告関係団体との情報交換

広告関係 23 団体との情報交換も全てオンラインまたは電話やメールでのやり取りが中心となっています。ここでも従来の「つながり」の部分が課題となっていますが、各団体とも様々な取り組みを行っていますので、ここで取り上げられた有益な情報は共有出来るよう努めてまいります。

7. 各委員会・理事会の開催ならびに OAC50 周年に向けて

各委員会・理事会は、コロナ禍にて全てオンラインまたは事務局とのハイブリッド方式での開催となっています。オンラインでの開催は物理的距離の問題はクリアできますが、逆にワイワイガヤガヤと話し合った従来とは違うためか、参加人数が減っている側面もあります。この課題をどう解決していくかを検討しつつ、より充実した委員会活動にしていきたく思います。

また、今後の広告制作業界の魅力や価値はどうあるべきか、こちらも併せて考えてまいります。なお、昨年より OAC 設立 50 周年に向けた準備を開始しましたが、引続きそのあり方を検討しつつ、より具体化していきたく思います。

会員企業相互の発展のために

1. CREATOR 誌の監修

毎年 12 月に宣伝会議社より発行している CREATOR 誌の監修。自社ブランディングを捉え直す機会として、そして自社をアピールする機会として会員各社にとっては貴重な場となっていると思います。また学生にとっては制作会社を知るために、そしてクライアントサイドはパートナー探しのための情報源として活用されています。今年度は CREATOR2023 として発行を予定し、内容のより一層の充実を図ります。

2. E&O 保険の継続

E&O とは Errors「過失」、Omissions「怠慢」の略語で、職務の遂行上の過失や怠慢によって顧客等の第三者に経済的な損害を与えた事に起因して法律上の賠償責任を負う事によって生じた損害を補償します。データ入力ミスや著作権に関して活用され、現在 24 社の会員社が加入。新たに加入を検討される方は事務局までお問い合わせください。

3. 会員間のコミュニケーションのために（ビジネス交流会の計画）

コロナ禍の 2 年間、新たに会員になられた方々との交流を目的に開催していたビジネス交流会もこの 2 年間開催出来ていません。2022 年度はぜひともリアルでの開催を計画いたします。オンラインに慣れたとはいえ、どこか閉じた世界にいるような感覚もあります。本来のコミュニケーションを取り戻すためにも、実施に向け邁進いたします。

2022年度予算 収支予算書（正味財産増減計算書ベース）

2022年4月1日～2023年3月31日まで

（単位：円）

科目	2022年度 予算	2021年度 予算	増減	2022年度公益目的事業		2022年度収益等事業			法人会計
				公1	(合計)	収1	共益	(合計)	
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
受取会費等	23,220,000	23,700,000	△ 480,000	16,254,000	16,254,000	0	1,161,000	1,161,000	5,805,000
正会員受取会費	15,720,000	15,840,000	△ 120,000	11,004,000	11,004,000		786,000	786,000	3,930,000
賛助会員受取会費	7,500,000	7,860,000	△ 360,000	5,250,000	5,250,000		375,000	375,000	1,875,000
新賛助会員受取会費	0	0	0	0	0			0	0
新正会員受取入会金	0	0	0	0	0			0	0
新正会員受取会費	0	0	0	0	0			0	0
事業収益合計	4,520,000	3,300,000	1,220,000	1,060,000	1,060,000	3,260,000	200,000	3,460,000	0
広告料収益合計	3,260,000	3,060,000	200,000	0	0	3,260,000	0	3,260,000	0
クリエイター2023 会員社頁掲載料	2,200,000	2,200,000	0	0	0	2,200,000		2,200,000	
クリエイター2023 広告掲載料	1,000,000	800,000	200,000	0	0	1,000,000		1,000,000	
OACサイトバナー広告	60,000	60,000	0	0	0	60,000		60,000	
受取寄付金	0	40,000	△ 40,000	0	0			0	0
受取寄付金	0	40,000	△ 40,000	0	0				
雑収益	1,260,000	200,000	1,060,000	1,060,000	1,060,000	0	200,000	200,000	0
タクシー協会 協賛金	1,060,000	0	1,060,000	1,060,000	1,060,000	0			
OAC総合賠償責任保険 事務手数料	200,000	200,000	0	0	0		200,000	200,000	0
【経常収益計】	27,740,000	27,000,000	740,000	17,314,000	17,314,000	3,260,000	1,361,000	4,621,000	5,805,000
(2) 経常費用									
<事業費>									
人件費	13,298,350	13,238,500	59,850	12,673,500	12,673,500	174,300	450,550	624,850	0
役員報酬	4,845,000	4,845,000	0	4,590,000	4,590,000	0	255,000	255,000	
給料手当	4,703,760	4,753,800	△ 50,040	4,503,600	4,503,600	100,080	100,080	200,160	
法定福利費	809,340	855,950	△ 46,610	774,900	774,900	17,220	17,220	34,440	
人材派遣費	2,536,500	2,380,000	156,500	2,422,500	2,422,500	57,000	57,000	114,000	
役員退職金積立	403,750	403,750	0	382,500	382,500	0	21,250	21,250	
事務所関係費	3,969,400	4,218,000	△ 248,600	3,791,000	3,791,000	89,200	89,200	178,400	0
家賃	3,773,600	4,028,000	△ 254,400	3,604,000	3,604,000	84,800	84,800	169,600	
水道光熱費	195,800	190,000	5,800	187,000	187,000	4,400	4,400	8,800	
諸費	7,302,400	6,520,600	781,800	4,722,500	4,722,500	2,264,950	314,950	2,579,900	0
通勤交通費	432,400	620,350	△ 187,950	414,000	414,000	9,200	9,200	18,400	
会議費	20,000	70,000	△ 50,000	20,000	20,000			0	
会場費	500,000	100,000	400,000	300,000	300,000		200,000	200,000	
図書費	0	90,250	△ 90,250	0	0			0	
旅費交通費	200,000	320,000	△ 120,000	200,000	200,000			0	
通信運搬費	186,000	108,000	78,000	186,000	186,000			0	
事務消耗品費	145,000	37,000	108,000	145,000	145,000			0	
広告宣伝費	325,000	231,000	94,000	325,000	325,000			0	
渉外費	30,000	30,000	0	0	0		30,000	30,000	
制作費	200,000	0	200,000	200,000	200,000			0	
印刷費	423,000	380,000	43,000	423,000	423,000			0	
支払手数料（ZOOM）	110,000	0	110,000	110,000	110,000			0	
リース料	221,000	234,000	△ 13,000	221,000	221,000			0	
諸謝金	350,000	290,000	60,000	350,000	350,000			0	
諸会費	60,000	60,000	0	0	0		60,000	60,000	
委託費	2,240,000	2,100,000	140,000	0	0	2,240,000		2,240,000	
修繕費	210,000	130,000	80,000	178,500	178,500	15,750	15,750	31,500	
サイト運営費	1,470,000	1,550,000	△ 80,000	1,470,000	1,470,000			0	
雑費	180,000	170,000	10,000	180,000	180,000			0	
事業費計	24,570,150	23,977,100	593,050	21,187,000	21,187,000	2,528,450	854,700	3,383,150	0

(単位:円)

<管理費>									
人件費	941,650	991,500	△ 49,850	0	0	0	0	0	941,650
役員報酬	255,000	255,000	0	0	0	0	0	0	255,000
給料手当	300,240	250,200	50,040	0	0	0	0	0	300,240
法定福利費	51,660	45,050	6,610	0	0	0	0	0	51,660
人材派遣費	313,500	420,000	△ 106,500	0	0	0	0	0	313,500
役員退職金積立	21,250	21,250	0	0	0	0	0	0	21,250
事務所関係費	490,600	222,000	268,600	0	0	0	0	0	490,600
家賃	466,400	212,000	254,400	0	0	0	0	0	466,400
水道光熱費	24,200	10,000	14,200	0	0	0	0	0	24,200
諸費	1,737,600	1,809,400	△ 71,800	0	0	0	0	0	1,737,600
福利厚生費	30,000	30,000	0	0	0	0	0	0	30,000
通勤交通費	27,600	32,650	△ 5,050	0	0	0	0	0	27,600
図書費	75,000	4,750	70,250	0	0	0	0	0	75,000
旅費交通費	0	36,000	△ 36,000	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	185,000	185,000	0	0	0	0	0	0	185,000
事務消耗品費	100,000	200,000	△ 100,000	0	0	0	0	0	100,000
渉外費	53,000	24,000	29,000	0	0	0	0	0	53,000
印刷費	10,000	10,000	0	0	0	0	0	0	10,000
支払手数料	230,000	252,000	△ 22,000	0	0	0	0	0	230,000
支払報酬	874,000	874,000	0	0	0	0	0	0	874,000
リース料	14,000	22,000	△ 8,000	0	0	0	0	0	14,000
公租公課	73,000	73,000	0	0	0	0	0	0	73,000
修繕費	66,000	66,000	0	0	0	0	0	0	66,000
管理費計	3,169,850	3,022,900	146,950	0	0	0	0	0	3,169,850
【経常費用計】	27,740,000	27,000,000	740,000	21,187,000	21,187,000	2,528,450	854,700	3,383,150	3,169,850
【評価損益等調整前当期経常増減額】	0	0	0	△ 3,873,000	△ 3,873,000	731,550	506,300	1,237,850	2,635,150
基本財産評価損益等									
基本財産評価損益等									
特定資産評価損益等									
特定資産評価損益等									
投資有価証券評価損益等									
有価証券評価損益等									
【評価損益等計】									
【当期経常増減額】	0	0	0	△ 3,873,000	△ 3,873,000	731,550	506,300	1,237,850	2,635,150
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
【経常外収益計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
【経常外費用計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【当期経常外増減額】	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【当期一般正味財産増減額】	0	0	0	△ 3,873,000	△ 3,873,000	731,550	506,300	1,237,850	2,635,150
【一般正味財産期首残高】	24,234,226	22,703,120	1,531,106						
【一般正味財産期末残高】	24,234,226	24,234,226	0	△ 3,873,000	△ 3,873,000	731,550	506,300	1,237,850	2,635,150
II 指定正味財産増減の部									
【当期指定正味財産増減額】	0	0	0						
【指定正味財産期首残高】	0	0	0						
【指定正味財産期末残高】	0	0	0						
III 正味財産期末残高	24,234,226	24,234,226	0						

新型コロナウイルスの影響にて予定通り事業が行えない可能性があることをご了承ください。

- 公益目的事業比率：76.4% (公益目的事業の費用計/経常費用計)
- 収益等事業比率：12.2% (収益目的事業の費用計/経常費用計)
- 法人会計比率：11.4% (法人会計の費用計/経常費用計)

2022年度委員会・理事会日程

公益社団法人 日本広告制作協会(OAC)

	経営委員会	未来価値開発委員会	クリエイティブ委員会	広報委員会	理事会
時間帯	11:00~12:00	17:00~18:00	17:00~18:00	17:00~18:00	17:00~18:00
4月	4月26日(火)	4月12日(火)	4月14日(木)	4月27日(水)	4月21日(木)
5月	次回準備	5月17日(火)	5月18日(水)	5月26日(木)	5月26日(木)
6月	6月3日(金) 16時 第34回定例総会(OAC事務局&ZOOM)				
	6月21日(火)	6月14日(火)	6月16日(木)	6月23日(木)	
7月	次回準備	7月12日(火)	7月14日(木)	7月28日(木)	7月21日(木)
8月	8月23日(火)	8月は基本的に休会とし、必要に応じ開催。事務局にご相談ください。			
9月	次回準備	9月6日(火)	9月8日(木)	9月29日(木)	9月15日(木)
10月	10月25日(火)	10月4日(火)	10月6日(木)	10月27日(木)	
11月	次回準備	11月8日(火)	11月10日(木)	11月29日(火)	11月17日(木)
12月	12月13日(火)	12月6日(火)	12月8日(木)		
2023年1月	次回準備	1月17日(火)	1月19日(木)	1月26日(木)	1月19日(木)
2月	2月21日(火)	2月14日(火)	2月16日(木)	2月21日(火)	
3月	次回準備	3月14日(火)	3月23日(木)	3月28日(火)	3月16日(木)

- ※ 委員会はZOOMならびに事務局集合のハイブリッド方式を前提に対応していきます。
- ※ 6月3日の総会は、総会のみで開催にて懇親会は行いません。なお、総会は事務局&ZOOMのハイブリッド方式で行います。
- ※ 基本的に祝日の前後は日程から外しています。それに伴い、通常曜日と異なる場合がありますのでご注意ください。
- ※ 新年賀詞交歓会は本年度も中止とします。
- ※ 毎年開催してきたビジネス交流会は8月後半か9月初旬に何かしらの形式で開催を計画しています。

コロナ禍にて 2 年間にわたりオンラインでの委員会活動が続きました。オンラインでのやり取りにも慣れ、距離・移動時間等の問題も解決されました。しかしその一方、雑談が出来ない、またコロナ以前にはできた交流が出来ず、何気ない会話の中から刺激を受けていた部分も減ったとの声も聞きます。それではとハイブリッド方式での開催案内を流しても、やはり今のところはオンラインを選ぶ方が多いようです。各社ともリスク回避も考えているでしょうし、在宅勤務の関係等もあり 2022 年度もこの傾向は続くかもしれません。

このような状態の中、各委員会とも今まで以上に「参加して楽しい」・「参加して刺激になる」そんな面白さを模索しています。

皆さまも「こんなテーマで話し合ってみたい」等のご意見をお寄せいただき、共に活気ある OAC 活動にご協力ください。



〒104-0061 東京都中央区銀座 1-14-7 銀座吉澤ビル9F

TEL03-3561-1220 FAX03-3561-1221

Mail info@oac.or.jp

HP : <http://www.oac.or.jp/>

face book : <http://www.facebook.com/creativeOAC>

twitter アカウント : creativeOAC